

第 127 回 肥前セミナー

日本におけるトラウマ臨床の重要性 ～トラウマを理解し、回復を支えるために～

講師：杉山登志郎 先生 福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授

日時：令和 9 年 1 月 29 日（金）18：15～19：45

場所：肥前精神医療センター内「医師養成研修センター」

近年、トラウマが心身の健康や、その後の人生に及ぼす影響の大きさについて、テレビや各種メディアを通じて取り上げられる機会も増え、社会的な関心が高まりつつあります。トラウマは個人の心の問題にとどまらず、身体症状、発達、対人関係、学習や就労など、生活の様々な領域に影響を及ぼします。そのため、トラウマを経験した方への支援には、適切な医学的介入に加え、教育、福祉、心理、地域など多領域の連携が求められます。

今回の講演会では、子ども・青年期の発達やトラウマ、愛着の問題に長年取り組んでこられた杉山登志郎先生をお迎えします。

杉山登志郎先生には、「トラウマインフォームドケア（Trauma-Informed Care: TIC）の重要性」についてお話しいただきます。トラウマインフォームドケアとは、目の前にある行動や症状だけを見るのではなく、その背景にある体験や環境に目を向け、「この人に何が起きたのか」という視点から相手を理解し、関わっていくための考え方です。これは、医療の臨床現場に限らず、学校や家庭、福祉、地域など、日常の様々な場面において重要な意味を持ちます。

トラウマを経験した方の回復を支えるために、私たち一人ひとりに何ができるのか。先生のお話を通して、学び、考える機会となれば幸いです。

※参加無料、先着 80 名。

申込〆切 11/30（月）。

右の QR コードからも申込可→



〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160
独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター
肥前セミナー係 川合・森松（担当 加藤）
TEL 0952-52-3231 / FAX 0952-52-3400

杉山登志郎先生プロフィール

精神科医・医学博士。福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授。1976 年久留米大学医学部卒業。名古屋大学医学部精神科、静岡大学教育学部教授、あいち小児保健医療総合センター保健センター長、浜松医科大学児童青年期精神医学講座教授等を経て 2017 年より現職。発達障害とトラウマ、子ども虐待とその後の発達への影響について長年にわたり、精力的に臨床・研究・教育に取り組んでいる。

